

すくわくプログラム推進事業実践報告書 2025年2月-2回目

所在地	東京都新宿区戸山1-21-1
施設名	しんじゅくいるまこども園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

宇宙を想像して表現してみよう。

<テーマの設定理由>

・月末に予定しているお別れ遠足に向けて、科学遊びの一つとして、アートポンを利用する。自分の描いたものが映像の中に入り、動く面白さを感じたり、どんな生き物や乗り物が宇宙にあるのか、想像したものを表現することを楽しんだりできるようにした。

2. 活動スケジュール

- ・年長児1クラス20名が参加。園庭で行う。
- ・活動時間 60分（目安）
- ・最後に投影して、それぞれが考えた宇宙の表現を共有して楽しむ。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・iPad ・プロジェクター ・アートポン塗り絵 ・クレヨン
- ・園庭遊びを行いたい子ども居たため、園庭で行う。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・アートポンの説明をする。
- ・園庭で遊びたい子ども居たため、クレヨンを園庭に持っていき、戸外での活動として行った。
- ・園庭の好きなどころで、宇宙をイメージした塗り絵やお絵描きをする。出来たものをアートポンに取り込んでいく。
- ・最後に、全員の塗り絵が入った宇宙の世界をプロジェクターで投影し、共有した。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

- ・導入として、来月予定しているお別れ遠足でも宇宙ブースがあることと、宇宙はどこなところか？何がある（ある）と思うか、など、宇宙のことを想像できるような声掛けをした。
- ・以前行ったアートポンの様子を見せて、同じような形で宇宙を表現するイメージを共有した。
- ・園庭にクレヨンとアートポンの紙（ロケット、宇宙船、○など形の付いた塗り絵）を持って行く。
- ・最後にプロジェクターでそれぞれの表現を共有する。

(子どもたちの様子)

- ・自分の好きな宇宙のモチーフを選び、塗り絵を行っていた。園庭のどこが書きやすいか、自分たちで考えながら塗り絵を楽しんでいた。
- ・イメージが湧き、何枚も描く子もいれば、一枚描いた後園庭遊びを始める子も居た。
- ・プロジェクターによるイメージの共有は、全員が集まりよく見ていた。「これ○○の」といったり、「これは○○だよ」と言った、おともだちの作品を見つけたり、自分のイメージを話したりする様子も見られた。

(保育者の関わり)

- ・アートポンを紹介して、宇宙モチーフの塗り絵を用意した。
- ・適宜声を掛けながら、子どもたちのイメージする宇宙の話を引き出し、イメージをもって絵を描いたり、塗り絵をしたり出来るように関わった。
- ・屋外でプロジェクターが投影できそうな場所を探し、投影する。

活動のが分かる写真 2枚以上を貼付してください。

(HPなどで公開する可能性がありますので、公開可能なものを使用ください。)



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・塗り絵はクレヨンを使用したのが、発色が良くアートボードに取り込んでも見やすかったのが良かった。
- ・子どもたちと話し合い、戸外遊びをしたい子もいたため、塗り絵を園庭で行ってみることにしたが、自分たちで場所を見つけて、のびのびとスペースを使って塗り絵をすることができていた。
- ・そのままプロジェクターを外で使用したことで、自由遊びと、集まって共有するところと、メリハリが出てよかった。
- ・戸外で塗り絵はあまり行ったことがないが、のびのびと気持ち良さそうに行っていたため、今後も戸外で塗り絵など、部屋遊びのイメージの遊びも戸外でできる機会があると良いなと感じた。また、次戸外で行う際には、板などを用意できると尚良いと思った。